

# 夢が花咲き 泉のわく 花 知の



第 13 号  
2024. 11. 15  
文責：校長（門田）

進んで考える子・共に助け合う子・元気でたくましい子

## ホールいっぱい 歌声がひびきました



11月7日(木)、4年生は「一関地方児童生徒音楽発表会」に参加しました。学習発表会、11月3日の花泉ふれあいコンサートとステージを重ねてきた集大成となる発表でした。

講評いただいた2人の先生からのコメントを紹介します。

一関合唱連合会会長

1曲目『未知という名の船に乗り』は、リズムに乗って元気に歌えました。2曲目『どんなときも』は、明るい響きで大切なメッセージを届けていただきました。2部合唱も、リズム・音程がしっかりしていて効果的でした。低音部の、地声を柔らかく出すことにトライしてみてください。

平泉町教育委員会指導主事

1曲目『未知という名の船に乗り』は、ことばがしっかりと立っていて、心地よく聞くことができました。二声の掛け合いも良かったです。2曲目『どんなときも』は、雰囲気ガラッと変えて、しっとりと聞かせる演奏でした。ことばを大切に歌っていることが伝わりました。歌い終わりの声の響きが、とても柔らかくて良かったです。

学習発表会後も、「さらによい合唱を。」と練習を重ねてきた4年生です。一関文化センター大ホールに、きれいな歌声を響かせました。自分たちの発表をがんばっただけでなく、演奏の前後では、とても良い聴き手として他校の演奏に拍手を送る姿が見られました。

## 文集「いわいの子」出品作品を紹介します。

一関地域では、市町村合併前の西磐井の「やまなみ」と東磐井の「馬っこ」を引き継ぐ形で、小中学校の文集「いわいの子」を編纂しています。今年度、本校からは各学年3本ずつの作品を出品しました。校報で、何号かを使って紹介していきたいと思います。

「なかよしこうりゅうかい」

一年一組 〇〇〇 〇〇



十月二十九日、なかよしこうりゅうかいがありました。こんど一ねんせいになるともだちが、小学校にきて、いっしょにあそびました。

はじめに、じこしょうかいをしました。わたしは、

「わたしのなまえは、さとうゆあです。よろしくおねがいします。」

と、やさしいこえでいきました。

つぎにおうさまじゃんけんをしました。かっつておうさまになりました。うれしかったです。じゃんけんれっしやもしました。みんなでつながつたら、ながいれっしよになりました。

さいごに、小学校のしょうかいをしました。わたしは、としよしのしょうかいをしました。

「ほんをかりるときは、えほんぶくろをつかいます。」

とはなしました。こどもえんのもだちは、しずかにきいてくれました。

かえるとき、みんなで見おくりをしました。わたしは、

「きてくれてありがとう。」

とはなしました。らいねん、小学校であつたら、いっしょにあそびたいです。べんきようも、おしえてあげたいです。

「はじめての学しゅうはつびようかい」

一年二組 〇〇〇 〇〇〇



十月十九日、学しゅうはつびようかいがありました。一ねん生は、「あいうえおげきじよう」をはつびようしました。

わたしは、「う」のなかまのやくをしました。れんしゅうでは、まちかた

は、うごかないで、たいいくかんのうしろにある、「めのおまもり」をみました。せりふは、

あまりさげばないように、きこえるこえの大きくなるようにがんばりました。れんしゅうするうちに、まちかたもせりふも、じょうずになりました。

いよいよ、ほんばんです。「う」のなかまはかぞえうたをいきました。じぶんのせりふがちかづいてきて、つぎだな、とおもいました。

わたしは、

「こうてい九しゅうはしる。」

と、大きなこえでいきました。ハシビロコウ

になってはつびようできました。ハシビロコウは、じつとうごかないで、さかなをまつて

いるとります。二くみの「きをつけのあいことば」です。そして、えがおでがんばりました。かぞえうたを、二くみのみんなとリズム

のつて、たのしくいえてよかったです。

いえにかえつたら、おうちのひとに、

「とつてもよくがんばったね。」

といわれました。わたしは、うれしいきもちになりました。

二ねんの学しゅうはつびようかいでも、みんなであつたのしくやりたいです。

「あさがおをそだてたよ」

一年三組 〇〇〇〇 〇〇〇〇



わたしは、せいかつのがくしゅうで、あさがおをそだてました。

五月二十五日に、たねまきを

をしました。たねはこげちや

いろで、すいかをきったときのかたちをして

いました。つちにあなをあけて、たねを五こ

いれました。つちをかけるときに、

「あさがおさん、きれいにさいてね。」

と、こえをかけました。

七月になつたらみんなのあさがおはさいた

けれど、わたしのあさがおはさきませんでした。

いつさくのかなとおもいました。

なつやすみに、おうちにもつてかえつて、

はやくさくといいなとおもいながら、お水を

あげました。すると、七月二十一日につぼみ

ができました。つぼみは、さががねじれてい

て、ふわふわして、くうきがいったいるみ

たいでした。さががあかくて、かわいかったです。

七月二十二日に、おはながさきました。お

はなは、はなびらがひらひらしていて、あか

くてきれいでした。とてもうれしかったです。

まい日、お水をあげてよかつたなとおもいま

した。

九月になつたら、ちやいろのたまねぎみた

いなものができました。なかからたねがでて

きました。たねまきをしたときのたねとおな

じだったので、びっくりしました。

たねがいつぱいとれたので、らいねんの一

ねんせいにあげようとおもいます。らいねん

もきれいにさいてほしいです。

### 「楽しかった町たんけん」

二年一組 ○○○ ○○○



今日、わたしは、みんなと町たんけんに行きました。きのうの夜は、わくわくしてあまりねむれませんでした。

みんなで電車にのって、一ノせきに行きました。「ガタン、ゴトン。」と、電車の音がいつぱいなっていることにおどろきました。電車には、ほかのおきやくさんものつていました。それでも、二年生のおきやくさんがのれるぐらいのせきがあったのでよかったです。

さいしよに、一ノせきえきに行きました。新かん線のホームに行く、はやぶさとこまちがつながってホームにとまっています。大きかったので、すごいと思いました。まっていたら、ほかの新かん線が、「ゴォー。」という音をたてて、通りすぎていきました。音が大きくてびっくりしました。新かん線を見ることができてうれしかったです。

えきでは、電車のしゅるいや大ふなと線が百しゅう年になると教えてもらったので、こんどお家の人と電車にのってみたいと思いました。

つぎに、ゆうびんきよくにあるいて行きました。ゆうびんきよくでは、バイクがおいである地下しつに行きました。バイクの前にある黒いかばんには、小さいお手紙やふうとうを入れるそうです。後ろにある赤いはこを開

けると黒いあみがあつて、そのあみは、にもつがおちないようにしているんだそうです。すごいふうを教えることができませんでした。

それから、見えないバーコードのせつめいも聞きました。バーコードはきかいの光をあてたら見えました。きかいをつかわないと見られないなんてすごいと思いました。

さいごに、文かセンターに行きました。そこで、トイレや水のみ休けいをしました。とてものは大きくて広かったです。

帰りは、スクールバスにのって帰りました。「楽しかったね。」

と、友だちと話しました。今日は、電車やバスによいかしんばいだったけれど、みんなとのれてとっても楽しかったです。そして、町たんけんが、みんなとあんなにできてよかったです。こんどまたけしきをながめて楽しくのりたいです。

### 「きんちようしたけどがんばった学しゅうはつびよう会」

二年二組 ○○○ ○○○



わたしが今までのれんしゅうでがんばったのは、自分のせりふを大きな声で話すことです。なぜかというと、そうしないと後ろの方まで、話すのがあまりとどかないと思ったからです。

学しゅうはつびよう会のそうれんしゅうの日に、わたしは、立ったりすわったりすることや、せりふを大きな声で話すのをがんばり

ました。あとは、がつきをじゅんびするタイミングを合わせるのを気をつけました。きんちようしたけど、大きな声で話せたのでよかったです。本番で歌うのがはずかしくなつて、声が小さくならないようにしたいと思いました。

当日は、ろう下に立っている時はあまりきんちようはしませんでしたが、いぎステージに上がると、とてもきんちようしました。前を見ると、いつぱい人がいるのでびっくりしました。おとうさんとあかあさんは、弟が生まれたばかりだから見に行けないと言われていたのに、来てくれたのでとてもうれしかったです。おばあちゃんも来ていてうれしかったです。終わって帰る時に、からあげを買ってもらいました。おなががへっていたのでうれしかったです。お家に帰って来てから、からあげを食べました。とてもおいしかったです。おなががすいていたので、いつもよりもっとおいしかったです。『楽しいね』のきよくが楽しいよ」としようたいじように書いていたので、おばあちゃんに、「そうやって書いていたのは、本当だったんだね。」と言われました。おかあさんには、「『ほらね』と言うところがかわいかったね。」と言われてうれしいと思いました。きんちようしたけど、さいごまで通せてうれしかったです。

## 「学しゅうはつびょう会がんばったよ」

二年三組 ○○○○ ○○○○



ぼくは、学しゅうはつびょう会をとてもがんばりました。二年生は、歌とけんばんハーモニカのえんそうをしました。

歌は、音楽のじゅぎょうで学しゅうした「はしの上で」を歌いました。歌いながら、友だちと手を合わせるおどりだったけど、リズムに合わせながらおどることがたいへんでした。だけど、いっしょうけんめいれんしゅうをしたのでうまく歌うことができました。

けんばんハーモニカでは、「かつこう」と「こぎつね」をえんそうしました。「かつこう」が少しむずかしかったけど、れんしゅうをたくさんしたので、上手にえんそうできるようになりしました。本番でもうまくえんそうできてよかったです。

歌とけんばんハーモニカは、どちらも今までのれんしゅうで気をつけていました。本番に上手にひけてよかったです。

ぼくはきんちようするとたちすわりをわすれてしまうので、本番は気を付けたいと思っています。そして、本番は、少しポイントとしていたときもあつたけど、今までのれんしゅうより気をつけてできました。

本番は、ぼくもみんなも一番の力を出すことができていたと思います。うまくはつびょうできて、おうちの人がかっこいいすがたを見せられたのでよかったです。帰ってから、おうちのの人に、

とほめられました。三年生のはつびょうもがんばりたいです。

## 「ふるさと花泉のお宝」

三年一組 ○○○○



わたしは、三年生のみなで花泉のお宝について学びました。新花泉小学校、ハナイズミモリウシ、金沢大行列を学び、いちばん、金沢大

行列のことが心に残りました。火事で燃えしまった八幡宮の神様であるご神体を移すために、寄付された宝物をもって、金沢の町をキロメートル行列したことがはじまりです。そのときにもつ大毛やりは、昔、本物のやりが入っていたことにびっくりしました。二百年七十年間続いていることを知って、すごいなと思いました。

この学びを、学習発表会で伝えました。三年生のめあては、「心を一つに自分たちの学びを笑顔で伝える」でした。一組、二組、三組合同で、はじめて練習した時は、声が小さく、はっきりとした声ではありませんでした。けれども、練習を重ねつづけたら、どんどん声が大きくなりしてきました。総練習と本番でも、大きな声ではっきりと言えたのでよかったです。フィナーレでは、「ふるさと」を歌いました。ふるさと花泉を大切に思う気持ちをおかあさんは、「どうどうとしていてかっこよかったです。全体でのせりふもびつたりそろっていたし、三年生の学びがよくわかったよ。」とほめてくれました。

とてもうれしかったです。ふるさと花泉のお宝を会場のみなさんに伝えることができてよかったです。

わたしは、花泉町の老松に住んでいます。今は閉校した老松小学校では、放課後に友だちとすべり台で遊んでいます。閉校した後も友だちみんなで遊べるのがうれしいです。だからわたしは老松のことが好きです。「もりのみせ」では、かわいいピンや、安いおかしが売っています。色いろなものが売っているところなんです。これからもこのお店に行きたいです。新花泉小学校では、老松、日形、金沢、油島、涌津、永井、花泉の七つの地域が集まった小学校です。だから、校しゅうには七つの丸があることを知って、色いろなくふうがあるんだなと思いました。一つの学校だと人数が少ないけど、七つが集まることで友達がたく山できます。地域の人には、たく山の友達と勉強したり遊んだりしてほしいという願いがありました。これからも新花泉小学校で、たくさんの方の友達をつくりたいです。そしてこれから、勉強では、苦手な理科、図工、水泳をとくいにしして、四年生になった時に、全部とくいになれるようにがんばりたいです。ふるさと花泉を大切にしていきたいです。

子ども達の作文から、学校で楽しく勉強したり活動したりしている様子、行事等の取組を通して心が成長している様子を感じていただけでしょうか。残りの作品は、後日、改めて紹介します。